



世界自閉症啓発デー in HAKODATE 2016

2007年の国連総会で、中東カタール王国王妃の提案により
毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day)
とすることが決議され、地球規模で様々な取り組みが行われています。

日本でも、日本自閉症協会や厚生労働省等の関係諸団体により日本実行委員会が組織され
4月2日～8日を発達障がい啓発週間として
東京タワーのブルーライトアップなど、毎年各地で多彩な啓発イベントが開催されています。

ここ道南の地でも、多くの方々のご協力をいただき
世界自閉症啓発デー函館地域実行委員会が2013年から活動をスタートしました。
愛すべき自閉症の人たちとのお縁が無かった人、関わる機会の無かった人たちに
少しでも関心を持ってもらえるような、小さなきっかけをつくるのがこの活動の一番の目的です。

地域のテーマは『Blue in the Diversity』
「多様性の中のブルー」です。

自閉症に限らず、さまざまな障がいや疾患のある人たち、国籍や人種の違う人たち、
他にもたくさん、実は近くにいる少数派の人たちが安心して暮らせる社会
多様性をポジティブに受け入れることのできる、全ての人に対してあたたかい社会こそが、
私たちの目指す地域の姿だと考えています。

世界自閉症啓発デー函館地域実行委員会
2016.4.2 Sat.

<http://blue.hakodate-hkd.info/>

北海道の世界自閉症啓発デーの公式ロゴです。ブルーは啓発デーのシンボルカラー、パズルピースは自閉症の象徴です。希望の光を手に行っているのは「北うさぎ」。道南でしか出会えない、ステキなご当地キャラクターです。
北うさぎ工房さんのご厚意で使用許可をいただき、サクセンカイギ社さんにデザインをしていただきました。



五稜郭タワーアトリウム会場

* オープニングセレモニー *

五稜郭タワーからGO 太くん、北斗市からおーしーほっきーも駆けつけてくれました。



実行委員会 大場委員長 挨拶



北海道自閉症協会道南分会 副会長
平清水 美奈 様



渡島教育局 教育局長
辻 俊行 様



函館市教育委員会 教育長
山本 真也 様



北斗市教育委員会 教育長
永田 裕 様



七飯町教育委員会 教育長
與田 敏樹 様

* BLUE の音楽祭 *



Keller さん

世界自閉症啓発デー in Hakodate
テーマソング「Blue Rainbow」を
作って頂きました



音舞さん



ゴスペルクワイアMSCさん



トラベリングバンドひのき屋の皆さん



GO 太くんとおーしーほっきーも
一緒に！！



加藤副委員長が締めくくりました

* 第三◎ 自閉症啓発デー・アート展 *

外山欽平様、安積徹様、高島昌子様、コジマ店装様、画廊一花様、銀河工房様、
五稜郭支援学校様、附属特別支援学校様、函館養護学校様、NPO 法人わっとな様、他
多くの皆さまのご協力をいただき、4月1日～4月4日の4日間、函館市芸術ホールにて開催しました。



109点の展示作品を約670名の方々にご観覧いただき、感想もたくさん寄せていただきました。
会場の一角には発達相談コーナーや、自閉症や発達障がいのおれこれをお話することができる「おしゃべり広場」も。



自閉症の人やその他の障がいのある人たち、そして
そんな少数派を応援する人たちのアート展です。

応援企画「ブルーの写真展」にも
多数のご参加をいただきました。

自閉症啓発デー・アート展 特別親子企画

* ブロックでオリジナル作品を作ろう@出張ブリックラボ *

ブロック作家かたあかしんごさんの全面的なご協力をいただき、
人気のカネモリブリックラボが芸術ホールに出現しました。



かたあかしんご作
大きな
ブロック製 北上さぎのゴ



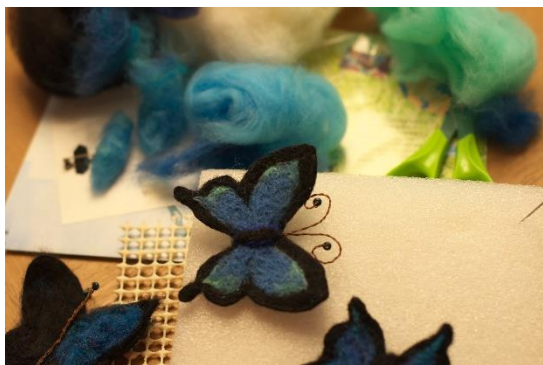
子どもたちの作品の数々。
途切れることなくたくさんの親子が
参加し、時間を忘れて遊びました。



* ものづくり講座 *

ものづくりを通して知る それぞれの個性

昨年に引き続き、ブルーをテーマにしたものづくり講座をおこないました。
地域で活躍する講師陣が、優しくていねいに手ほどきし、自閉症の人も自閉症ではない人も
おとも子どもも一緒に、自閉症の話もちょっぴりしながら、すてきな時間を過ごしました。



『羊毛フェルトで作る青い蝶々ブローチ』
yooouo felt works tama 玉山知子さん



『青い新幹線を走らせよう!』
郷六優輝さん



『初めてでも描ける癒しのパステルアート
「幸せの青空」』
WHITE ROSE 高橋由利子さん



『verde CHIOSCO flower lesson
～青い花の宝箱～』
verde CHIOSCO 小野良子さん



『みんなで木のカステネットを作ろう!』
木族工房 永井将人さん

函館薫屋書店さんでは、
障がいや自閉症関連のDVDや書籍の
コーナーを設置していただきました。
また、ステージのスクリーンでは、
世界自閉症啓発デーin Hakodate テーマ
ソング「Blue Rainbow」のプロモーション
ビデオを流していただきました。

北海道小鳩会函館分会共催企画 ＊ 南坪あゆみさんハープ演奏会 ＊



3月21日は「世界ダウン症の日」
ダウン症の日と自閉症啓発デーの間の3月27日（日）に、ダウン症の親の会「小鳩会」とのコラボレーション企画を開催しました。

ダウン症のミュージシャン、南坪さんのやさしいハープの音色に、会場いっぱいの聴衆はうっとりとして聴き入っていました。

小鳩会の皆さんは、3月21日に丸井今井前にて啓発チラシ配りも行いました。

＊ にじいろギャラリー ＊



会場の壁には、ダウン症当事者の皆さんの作品や自閉症に関するパネルも展示されました。



4月2日には、自閉症クイズで豆知識をお持ち帰りいただきました。啓発グッズの販売も好評でした。

＊ 木育企画 ＊

「木育」とは、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組み。
北海道が認定する木育マイスターの方々に来ていただき、「木の鉄砲で射的」「木の魚釣り」を行いました。



子どもも大人も
木のぬくもりや感触を
一緒に楽しみました。

* 手廻しオルガ>演奏会 *



てまわしオルガ> キノさんによる演奏会。
手廻しオルガ>ののんびりとした響きに会場全体が
癒されました。実際に手廻しオルガ>の演奏に
挑戦されたお客様も。



棒二森屋会場

函館駅前の棒二森屋でも、買い物に来るお客様たちに啓発活動を行いました。



クッキーハウスさんがIP>販売も
行いました。

新函館北斗駅会場

開業したばかりの新函館北斗駅でも啓発活動を行いました。



まるやま荘さんがIP>販売も
行いました。

グリーンフォレストカフェ会場

1Pネルディスカッション

* シェアハウスプロジェクト～みんなで考える暮らしのデザイン～*



「シェアハウスを作りたい！」
そんな、当事者の方の思いから
発足したプロジェクト。
多くの方にその思いを伝え、
構想する場となりました。

畑のレストラン Huis～ゆい～ 会場

* ヒューマンライブラリー *

コーヒーを飲みながら発達障がいの方と話しする「ヒューマンライブラリー」が行われました。



会場となった
畑のレストラン Huis～ゆい～
新函館北斗の駅前にあります。



シネマアイリス会場

* 映画『1Pンク・シンドローム』上映 *

フィンランド発、知的障害者だけの1Pンクバンドに迫る奇跡の音楽ドキュメンタリー！
シネマアイリスさんのご厚意により、4/2～4/8（4/4～4/8は1日2回）の期間、
上映していただきました。



シネマアイリスさんの他、樺二森屋さん、
はるこどもクリニックさん、
函館ウイカさん、
サポートセンターぽすてるさん、
NPO法人わっとほさんなどにも
市民の皆さんへの
前売り券販売にご協力いただきました。

画廊一花会场

* 安積 徹 日本画展「青い世界 河畔林」 *

自閉症啓発デー・アート展の監修をしていただいている日本画家 安積徹氏の作品展が啓発デーに合わせた4月1日～3日に開催されました。四季それぞれの「青い」絵が印象的です。



中央図書館会场



4/2～4/8 までの発達障がい啓発週間に19パネル展示と関連書籍特設コーナーを設けていただきました。

各会場にて

* 啓発ポットティッシュの配布 *



金森赤レンガ倉庫
市立函館高校の皆さん



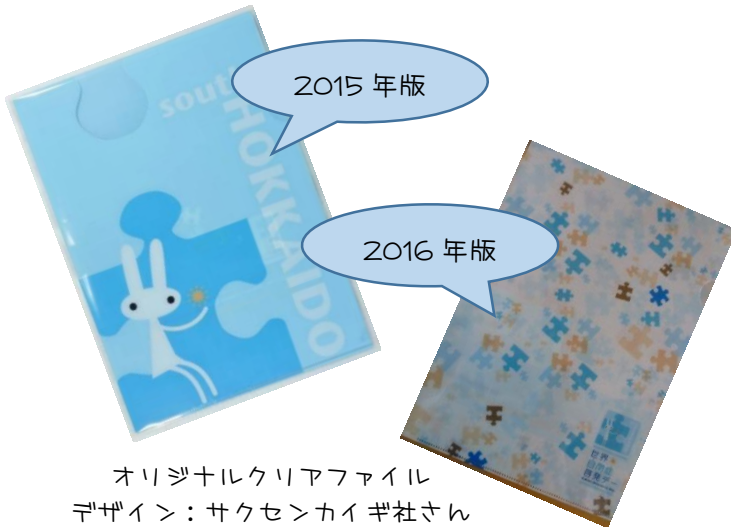
棒二森屋



新函館北斗駅
函館商業高校の皆さん

この他、アトリウム会場でもボランティアの皆さんの笑顔と共に、啓発ティッシュを配布しました。

世界自閉症啓発デー in Hakodate オリジナルグッズ



2015 年版

2016 年版

オリジナルクリアファイル
デザイン：サクセンカイギ社さん
袋詰め協力：函館白百合学園福祉局の皆さん



自閉症を知って
いただくための
メッセージカード
入りにしました

中国工芸茶
提供：café 茉莉花さん



啓発ポットティッシュ
デザイン：サクセンカイギ社さん



手作りのブルーの星のストラップ
匿名でご寄付いただきました



ドリップパックコーヒー
提供：ブルーフォレストコーヒーファクトリーさん

羊毛フェルト製
北うさぎストラップ
デザイン&製作：北うさぎ工房さん



自閉症協会
ペンパッシ



ステッカー
デザイン：サクセンカイギ社さん

100円以上の募金をして頂いた方に1枚お渡しして、
4/2~4/8の発達障害者啓発週間に胸に貼って頂き、
自閉症について知って頂く機会を作りたいと願い、
作成されました。

北陸銀行様、棒二森屋様、奥尻町役場様、鳥海IP干コ富士様、
渡島振興局様、ダスキン道南エリア会様、東郵便局様、
北斗市様他、たくさんのご協力
ありがとうございました。

＊オリジナル啓発グッズを各会場で販売しました＊



新函館北斗駅



五稜郭タワーアトリウム
Cog〜はぐるま〜さんが、福祉事業所製品
販売と共に取り扱い。



各会場では協賛企業の
ダスキン道南エリア会の皆さんが
啓発デーのシールが付いた
新幹線スポーツジを
販売してくれました。



棒二森屋



金森赤レンガ倉庫

展示

＊IPネル・ポスター＊

NPO 法人ひまわりさんの協力のもと、道内4カ所の発達障害者支援センターが共同制作した啓発IPネルと北海道自閉症協会道南分会の皆さんが作成した「親の想い・こどもの気持ち」IPネルをイベント期間中各会場で展示しました。



芸術ホール



棒二森屋



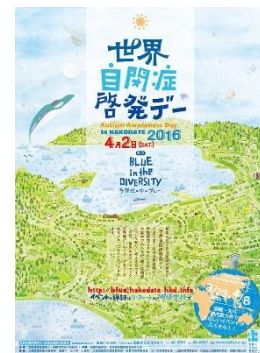
中央図書館



新函館北斗駅



五稜郭タワーアトリウム



この他、金森赤レンガ倉庫でもIPネル展示を行いました。

サクセンカイギ社さん渾身のポスター
道南およそ150カ所に貼られ
注目を集めました。

* 自閉症当事者制作 DVD 上映 *



五稜郭タワーアトリウム

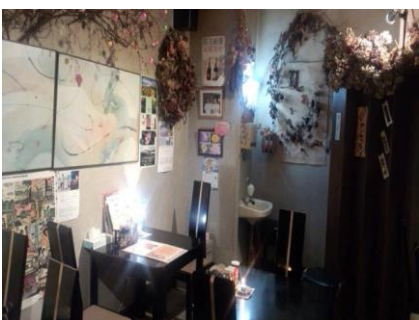
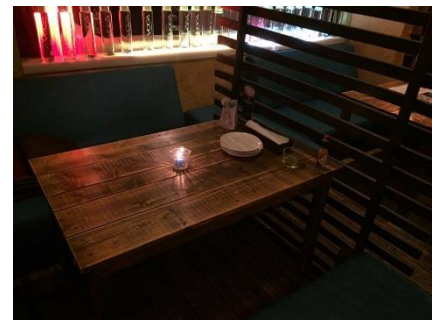
七飯町在住の KAZUMA さんが啓発デーのために作ってくれた新作の特製デジタル絵本を、五稜郭タワーアトリウム、アート展会場、金森赤レンガ倉庫で上映。

子どもたちに大人気でした。

Candle Night around Goryokaku Tower in Blue



4月1日、2日の2日間、
様々な飲食店さんにご協力を頂き、
七飯養護学校おしま学園分校の生徒さんが
製作した青い手作りキャンドルを
灯していただきました。



ご協力店 (順不同・敬称略)

かぜまち軒 / Colz-コルツ / ビストロやまくろ / 五稜郭・代志川 / 居酒屋こざる
キッチン中華おじたか / ル・パーティ・コシヨ / TAKA 五稜郭 / ニ代目佐平次
ディセラ・パール・オオシロ / 深夜喫茶銀色のグラス / 奥芝商店函館本店 / お台所と金
Flash Flash / 魚まさ五稜郭本店・函館美原店 / Café en / コワーキングカフェ小春日和
CAFÉ BAR Silent / noisy / BAR BAMBOO / くら兵衛 / Gala

ご支援の灯は、いつの間にか五稜郭タワー周辺のお店だけではなく、様々な地域まで広がっていきました。

* 点灯式 *

函館市長代理として函館市保健福祉部長の藤田秀樹様、
函館市医師会会長代理として副会長の萩澤正博様、
逢坂誠二衆議院議員代理の秘書様、横山信一参議院議員の代理として
奥様の横山美幸様、北海道自閉症協会道南分会会長の道下康子様にご挨拶をいただきました。
また、自閉症当事者としてKAZUMA 様も思いを語っていただきました。
他にも衆議院議員の前田一男様をはじめ、
北海道議会議員、函館市議会議員、北斗市議会議員の方々にも多数ご来場いただきました。



すべての人たちが自分らしく生きられる社会を願って、タワーを見上げます。



市立函館高校吹奏楽局の皆さんのファンファーレを合図に
集まった全ての人たち一緒にカウントダウン！

10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1

ライトアップブルー！

五稜郭タワー ブルーライトアップ

五稜郭タワー株式会社様、北海道立函館美術館様、函館市芸術ホール様、
函館市教育委員会様、市立函館高校様のご協力、
そして、エゾ共和国の皆様の方強いバックアップ
また、多くの皆様の温かいご支援のもと
今年もブルーライトアップが実現
18:30 の点灯から 21:00 までの 2 時間半、五稜郭タワーは青く輝きました。

FM いるか様、北海道新聞社様、函館新聞社様、NHK 函館放送局様、NCV 函館様など
マスコミ各社からも関心を寄せいただき
さまざま側面から取材していただきました。

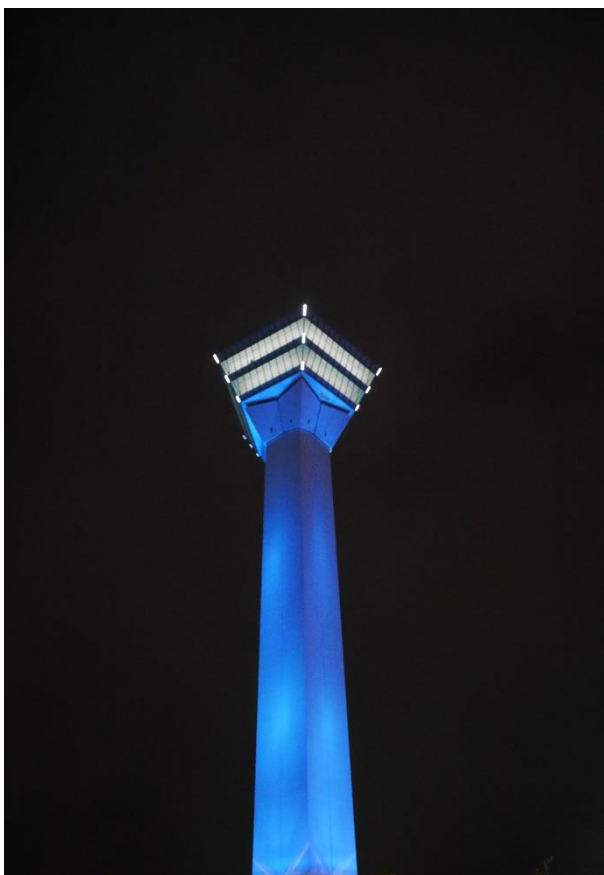
皆々様に厚く御礼申し上げます。

青く染まったタワーに、街中の人たちの何人かが気づき、
そしてその内の何人かが、「なんで、今日、青くなっているんだろう？」と疑問に思い、
さらにその内の何人かが、インターネットなどで「自閉症啓発デー」にたどり着いてくれたら…
少しずつですが、そんな思いでこれからも活動を続けて参ります。



ありがとうございました

たくさんの方が、青く染まったタワーをすてきな写真におさめてくださいました。
ほんの一部を掲載させていただきます。



多様な表情を見せてくれるブルーの五稜郭タワー、静かにみんなの幸せを願ってくださっているようです。





世界自閉症啓発デー 函館地域実行委員会事務局
(発達障害者支援センターあおいそら内)

<http://blue.hakodate-hkd.info/>

<https://www.facebook.com/LIUBHakodate>